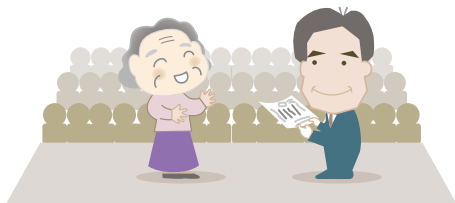


安心・支え合い 最優先

明るく健康づくりができる、楽しく運動できる、
元気に活動できる、そして災害に強いまち。
優しく支え合える「箕面」を実現したい。

- 「元気で長寿の人が多い」と驚かれるような街をめざして、「シニア活動応援交付金」により、シニア世代の地域活動・サークル活動をサポートします。



- 市立スポーツ施設について、定期的な改修と備品更新を確約する「スポーツ施設マネジメント・ルール」を策定し、利用料とのバランスをとりつつ改修を進め、気持ちよく運動を楽しめるように施設を再生します。
- 高齢者から子どもまで幅広い世代で健康増進・体力づくりを進めるため、通年利用できる「屋内温水プール」に、スライダーなどの夏季水遊設備を併設した「総合水泳・水遊場」を整備します。
- 老朽化した「あかつき園」の建替えを契機として、障害者通所施設を市内にバランスよく拡充し、障害者市民が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整えます。
- 市民の安心の拠点として開院35年が経過し、大阪府内の公立病院では最古の施設となった「箕面市立病院」のリニューアルの検討に着手します。
- 山並みを擁する箕面にとって脅威となる土砂災害の対策工事を進め、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）を縮小し、「レッドゾーン内の人家ゼロ」をめざします。

子育てしやすさ 日本一

身近で交流ができる、安心して医療が受けられる、
いつでも保育園に入れる、そして頼れる教育のまち。
子育てなら「箕面」と言われたい。

- 子どもの医療費助成の対象を、高校卒業（18歳）までに拡大。通院・入院とも所得制限を設けず、子どもたちの健康を守ります。
- 4年以内に約500名分の保育所定員を拡大し、年度当初（4月）だけでなく、1年を通して必要なときにいつでも保育園に入れる「通年の待機児童ゼロ」を実現します。
- 公共施設や店舗のキッズコーナー・キッズパークを増やし、親子で過ごし交流できる身近な外出先を広げるとともに、各キッズコーナーへの「子育て巡回相談」により、気軽に子育ての相談ができる環境を整えます。
- 英語ネイティブの外国人の先生（英語指導助手）を、全小中学校の全学年に1名ずつの全数配置に拡大するとともに、幼稚園・保育園にも派遣し、子どもたちのコミュニケーション力を育てます。
- 徒歩40分を超える長距離通学となっている船場周辺エリアを新たに1つの小学校区とする学校建設や校区調整の検討をスタートし、子どもたちの通学環境を整えます。



緑・住みやすさ 最先端

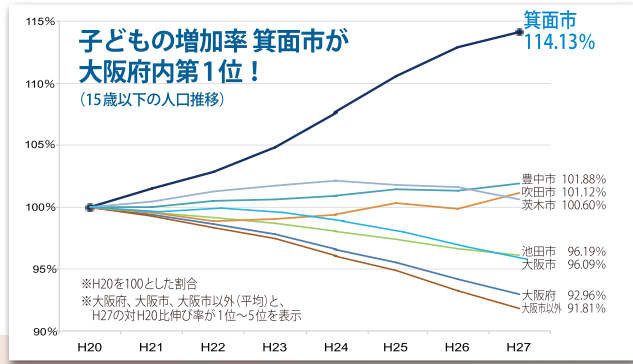
心地よい公園に、豊かな山、守るべき田園に、
整備された交通網、そして緑に親しめるまち。
もっと「箕面」を住みやすくしたい。

- 身近な公園について、「子どもが駆け回る公園」、「大人が落ち着ける公園」など、タイプを分けて特長を伸ばし、子どもから高齢者までそれぞれにあった居心地の良い空間になるよう公園再生を進めます。
- 山麓保全ファンドを軸として箕面のシンボル「緑」の保全・育成を進めるほか、箕面の豊かな山を活かして親子で郷土に親しめるフィールド・アスレチックを整備します。
- 箕面らしい田園景観を守り育てるとともに、朝市や学校給食への箕面産野菜の供給拡大のため、農業者・農業公社とともに農業生産の倍増をめざします。
- 市内の主要施設・商業地を結ぶルートに「自転車走行レーン（青いレーン）」を整備し、歩行者が安心して歩ける、自転車もスムーズに移動できる、歩車分離の安全な外出環境を整えます。
- 未整備の都市計画道路について、不要ルートの廃止や、欠落ルートの補完新設など、長期的な街の変化を見据え、今の時代にあわせた道路ネットワーク計画を再構築します。
- 箕面の西の玄関口である阪急桜井駅前の再整備、阪大キャンパス移転後にむけた粟生間谷の新たなまちづくり、新名神の開通間近の止々呂美の観光資源の拡充など、主要拠点のまちづくりを進めます。
- 北大阪急行線の延伸と2つの新駅の拠点を整備するとともに、箕面森町・彩都などニュータウンの生活機能を充実・育成していきます。

箕面どう変わった?

スピードと実行力、倉田市長の8年間

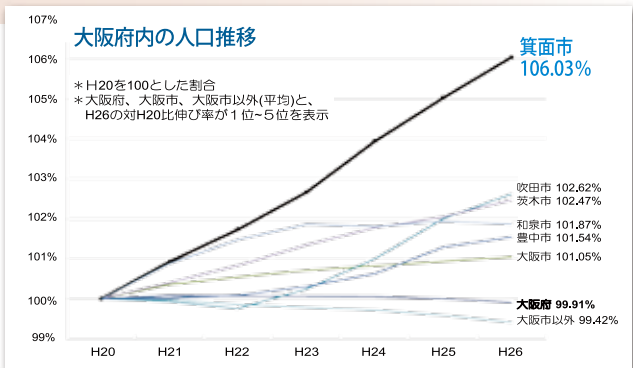
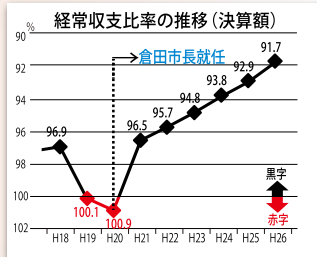
くらたてつろう 倉田哲郎



箕面市長として就任した翌年度に、慢性的な財政赤字を解消し、以後、連続黒字を継続。2012年度決算で10年ぶりの完全黒字を達成し、箕面市財政をV字回復。

一方、緊縮財政に陥ることなく、子どもの医療費助成の大幅拡大、オレンジゆずるバス、箕面川床の復活、そして北大阪急行線の延伸決着など、多彩な政策を展開。

現在、箕面市の人口は年1パーセント成長し、13万人を突破。住みよさランキングで5年連続の大阪1位を達成している。



8年前、全国最年少の市長としてスタートした倉田市政。「スピードと実行力」で街の姿を次々と変えてきました。今では当たり前と感じている生活シーンでも、思い返せば、8年前の箕面にはなかったものばかり。

- 箕面シニア塾の開講!
ラジオ体操や健康ウォーキングも盛況!
- キレイになった中央図書館
新しくできた小野原図書館
- 地域みんなで備えよう!
毎年1月17日の「全市一斉総合防災訓練」!
- 小中学校9年間を通じて
子どもの「学力・体力・豊かな心」を育みます
- 余暇サークル活動の充実!
新松寿荘・稲ふれあいセンターのオープン
- 北大阪急行線の延伸
2020年度に開業決定!
- 安心して守る「防犯カメラ」
通学路750台プラス自治会360台を全市展開
- すっかり箕面の景色に馴染んだ
オレンジゆずるバス
新たに発進した
オレンジゆずるタクシー
- 学校給食にならぶ
「箕面産の野菜」
農業公社による
遊休農地の再生
- 全国トップクラスの「子どもの医療費助成」!
中学校卒業までのすべての子どもが対象
- 住みよさランキング
5年連続大阪1位の快挙
- 小学校1年生から全9学年で
毎日の英語授業!
外国人の先生も3倍増

プロフィール

昭和49年 静岡県清水市 (現・静岡市) 生まれ
 平成 9年 東京大学法学部卒業
 郵政省(現・総務省)入省
 平成15年 箕面市役所に勤務(出向)
 平成18年 総務省に戻る
 平成20年 総務省を退職し
 市長選挙に挑戦
 34歳で箕面市長に初当選
 (当時全国最年少)
 平成24年 全国市長会 理事

◆特技 日本泳法(水府流大田派)
日本水泳連盟主催の全国大会で団体戦優勝

◆趣味 ベースギターを弾くこと

◆家族は、箕面で出会った妻と
箕面生まれの3人の息子たち

◆口ぐせ 「変えるべきは断固として変え
伸ばすべきは思い切って伸ばす」

◆好きな言葉 「為せば成る 為さねば成らぬ何事も
成らぬは人の為さぬなりけり」
(上杉鷹山)

子どもたちのこと、高齢のかたのこと、働く世代のこと
 日々、何を感じ、何を必要としているのか
 私自身もこの地で暮らす一人の親として
 いつも身近に意識し続けています。
 目標は「子育てしやすさ日本一」「安心と支えあい」「緑と住みやすさ」
 ふと「ここに住んでいてよかった」と嬉しく感じられる街
 「箕面に住んでます!!」と愛着をもって語れる街をめざして
 引き続き、全力で臨みます。



倉田哲郎 Web Site
<http://kurata.info/>

倉田哲郎

検索

ツイッターや
 ブログへもここから!